

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>

## 自主防災意識を高めよう



町内会長 2組 和気 茂



去る8月30日の新聞に「南海トラフ地震、死者最悪32万人、全壊・焼失238万戸」との、とてつもない大きな見出しで報道され、衝撃的な数字で大変驚いた。これは駿河湾から日向灘の「南海トラフ」を震源とするマグニチュード9.1の最大級の地震が起きた場合の想定で、千年に一度あるかないか、だれもが予測していなかった昨年のあの甚大な東日本大震災の発生に基づく反省から公表されたようだ。この発生確率や頻度は極めて低いとされているが、災害規模は東日本大震災をはるかに上回る大災害と想定している。特に震源に近い紀伊半島や四国の沿岸部での被害が大きく、この付近の津波の高さは34m近くになり火災、家屋の倒壊が複合されるとされている。

さて、我が岡山県の被害想定はどうなっているであろうか。前回想定に比べ、津波0→3m～4m、建物全壊50戸→18,000戸、死者50人→1,200人との見込みとなっており極めて厳しい内容となっている。

国が前例のない被害想定を公表したのは、仮に大きな震災が発生しても、事前にそれなりの対策を講じれば、特に人的被害は6分の1から8分の1に抑えることが出来るとしている。建物の耐震化、大型家財の転倒防止、早期避難等の対策である。前述した規模の地震発生は極めて低いとされているが、100年～150年周期で起きてきた東南海地震、南海地震が発生する確

率は30年以内60%～70%程度とされていることを認識していなければなりません。そこで私達の対応は、内閣府は、数字によって不安心理を増幅させて過度に恐れることなく、冷静に受け止め「正しく恐れて欲しい」と呼びかけています。

対策として、まず、自主防衛が大切だと思います。国や行政にたよるだけでは防衛にはなりません。一番大切なのは自分で自分の身を守る意識を持つこと。家庭内には消火器、火災警報器、タンスなどの転倒予防、地震が起きた時機の下がいいのか・逃げる経路は・持物の準備は・どの場所に避難したらいいのか、等々を日頃から自分自身で頭に描いておき、速やかに行動することが出来るよう身に付けておくことが重要だと思います。

なお、町内会としても役員会を開き、役員間の防災意識の高揚、役割分担、新たな非難場所の設定、自主防災等について討議する予定です。



### 最近の町内の動き

- 辰巳西公園北東に辰巳町内会によるゴミステーション完成
- 岡山県による御南中近辺の土手のかさ上げ (約80cm)
- 街路灯15灯、LED切替わる (昨年と併せ30灯)